

事業説明シート 2 秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備事業(新規)

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課  
 総合計画 4章2節1項  
 重点テーマ 秋田の将来を担う人づくり

<p>【 事業の目的】                  教育活動の成果である学生・生徒の作品展示と、コンクール等で評価を受けた作品等の散逸を防ぎ、また、これを収蔵することにより学生・生徒の修学意欲と教育レベルの向上を図るとともに、市民の工芸美術に対する関心と創作意欲の一層の喚起を図る。</p>	<p>【 事業の対象】                  秋田公立美術工芸短期大学・秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院</p>
<p>【 全体事業概要】                  平成14年度から秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備計画検討委員会を設置し、平成17年4月の短期大学開学10周年記念時に両学共有の「作品展示室」をオープンさせる。</p>	<p>【 国県施策名】                  【 国補助率】                  【 県補助率】                  【 起債充当率】</p>

【 期間別事業概要】

<p>前期:H15～H17                  17年度オープンを目指し、計画作業を進めている。また、作品収集と展示の運営方法について検討する。</p>	<p>後期:H18～H22                  次の10年を目指し作品を収集するとともに管理運営に努める。</p>
---	--

事業評価シート 2 秋田公立美術工芸短期大学・附属高等学院作品展示室整備事業(新規)

【 事業成果(アウトカム)指標】

指標					
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					
事業成果指標・備考	学生だけではなく大勢に鑑賞や評価をしてもらう機会を多く持つことにより、教育効果を高めることができる。また、短大および附属のPR効果が得られる。				

【 制度・事業の見直し(廃止)】

● 無 ○ 有	
---------	--

【 民間事業との競合、事業外部の条件整備、他部局との連携】

● 問題無 ○ 要配慮	
-------------	--

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向	
--------------------	--

【 市民共生、男女共生の視点】

○ 反映済 ○ 反映余地有 ● 関連せず	
----------------------	--

【 市町合併との関連】

● 関連無 ○ 関連有	
-------------	--

【 市が今行う必要性】

○ 無 ● 有	
---------	--



事業説明シート 4 実習棟（C棟）設備更新事業(新規)

部局課所 公立美術工芸短期大学美短総務課  
 総合計画 4章2節1項  
 重点テーマ 秋田の将来を担う人づくり

【 事業の目的】 学生の修学環境の健康と安全の改善を図る。	【 事業の対象】 秋田公立美術工芸短期大学生及び教員
【 全体事業概要】 「電気ガラス炉」を「ガスガラス炉」に更新する。グローリーホールを、消音タイプのグローリーホールに更新する。	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

【 期間別事業概要】

前期:H15～H17 電気溶解炉・グローリーホールは、高熱連続運転により損耗度が激しく、実習棟改修と同時期に耐用年数を迎え改修が必要となることから、教育効果・安全対策およびコストの削減のため、C棟改修と同時期に設備更新を行う。	後期:H18～H22
--	------------

事業評価シート 4 実習棟（C棟）設備更新事業(新規)

【 事業成果(アウトカム)指標】

指標	事故件数				
選定理由	健康で、安全な学習環境を提供する。				
計算・推計方法					
留意事項	学生を事故から未然に防ぐ。				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	0	0	0	0	0
実績	0	0			
事業成果指標・備考	1250度の高温なガラスを使用することより、健康及び安全面には、十二分に注意しなければならないが、老朽化が著しくセラミックファイバーが浮遊する溶解炉、高音が激しく教員の注意が聞き取れないグローリーホールを更新することにより、事故を未然に防ぐことを目指す。				

【 制度・事業の見直し(廃止)】

● 無 ○ 有	
---------	--

【 民間事業との競合、事業外部の条件整備、他部局との連携】

● 問題無 ○ 要配慮	
-------------	--

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向	
--------------------	--

【 市民共生、男女共生の視点】

○ 反映済 ○ 反映余地有 ● 関連せず	
----------------------	--

【 市町合併との関連】

● 関連無 ○ 関連有	
-------------	--

【 市が今行う必要性】

○ 無 ● 有	
---------	--

